

1. 基本情報

渡航先国名・地域名 (☆)	フランス共和国
滞在都市 (☆)	Cergy
留学先大学等名 (☆)	ESSEC Business School
留学先での所属学部/研究科 (☆)	MSc Exchange
留学先で主に使用した言語	英語
渡航先への入国日 (☆)	2016年 8月 19日
渡航先からの出国日 (☆)	2016年 12月 27日
渡航先国での滞在期間 (☆)	約4ヶ月
同伴者の有無・続柄・年齢等	なし
その他	

2. 留学先の大学に関する情報

2. 1 授業に関する情報

履修科目名称	French Training Session
履修期間	8月末から9月末までの1か月
授業時間 (○分×△回)	3時間*約20回 (含 校外学習)
授業形態 (講義・セミナー)	講義
取得単位数	2
履修科目名称	フランス語講座
履修期間	秋学期 (9月末から12月)
授業時間 (○分×△回)	3時間*15回
授業形態 (講義・セミナー)	講義
取得単位数	2
履修科目名称	労働経済学
履修期間	秋学期
授業時間 (○分×△回)	3時間*15回
授業形態 (講義・セミナー)	講義
取得単位数	2
履修科目名称	マーケティング
履修期間	秋学期
授業時間 (○分×△回)	3時間*15回
授業形態 (講義・セミナー)	講義
取得単位数	2

大阪大学経済学研究科/経済学部  
部局間協定校派遣生の海外留学体験談

履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
留学生（日本人）の割合	同じ課程（1学期のみの留学）には4人のみ
成績評価の方法（試験・課題の数や分量等）	授業内発表と、レポートあるいはテストの形式が多い
履修科目の制限等（あれば）	
（英語圏以外の場合） 英語の使用頻度、英語での授業科目の充実度等について	英語の授業が充実している。英語だけでほぼ生活可能

大阪大学経済学研究科/経済学部  
部局間協定校派遣生の海外留学体験談

語学に関するサポート(特別授業、チューター、エッセイライティングに関するサポート等)	フランス語の習熟度別の授業を受講することも可能
授業内での留学生に対するサポート等	特になし(ほとんどの授業で留学生が多数派のため)
その他	

2. 2 福利厚生に関する情報

大学内での福利厚生施設(生協・購買・食堂)について	食堂は2つ。カフェテリアもあり特に困ることはない。購買も1店舗ある。
図書館について	
保健センター等の有無	あり
クラブ・サークル等について	日本サークルあり
留学生へのサポート	
オリエンテーション等学校主催の行事について	秋学期から始まる様々なプログラムのオリエンテーションが同日に開催されるため、違う教室に行ってしまうと別プログラムのオリエンテーションをされることがあるので、開催場所などは要確認
現地の学生との交流について	サークル活動などで交流
他の留学生との交流について	寮や授業などでよく交流する
学外での活動について(地域コミュニティ活動等)	
長期休暇中の過ごし方	
その他	

3. ビザ・入国・渡航直後の手続きに関する情報

ビザの種類(☆)	学生ビザ(6か月以内)
ビザの取得手続きについて(申請方法、申請から取得までの所要期間等)(☆)	フランスの学校から受け入れ許可が出てからオンラインにて申請、フランス大使館(東京)まで必要書類を提出、申請から所得まで約1か月
利用航空会社	大韓航空
入国の際の現地空港名	シャルル・ド・ゴール国際空港
空港から滞在先への移動について(交通手段や所要時間)	ロワジーバス(パリ市内へ行くバス)、RERのA線でAuberからGergy Prefectureまで 計約3時間
入国審査について(提示した書類、審査官からの質問等)	特に問題なし

渡航後の手続き（在留届の提出、外国人登録等）	4か月の滞在のため複雑な手続きはなし。在留届はオンラインで提出
その他	

#### 4. 金銭に関する情報

奨学金の受給	無
奨学金名	
奨学金月額受給額（円）	
入国時に用意した金額	
クレジットカードについて（カード会社名・日常の利便性）	マスターカードを使用。特に問題なくどこでも使える。
留学中に利用した銀行名	
現地での銀行口座開設について（開設の有無・手続き等）	開設せず
デビットカードの使用について	VISA デビットカードを使用。フランス国内のほとんどのATMで現金の引き出しが可能。かつクレジットカードとしても使用可能。非常に便利
日本からの送金方法について	VISA デビットカードの口座（日本）に送金してもらった
1ヶ月の生活費（目安）	
その他	

#### 5. 暮らしに関する情報

##### 5. 1 住居に関する情報

住居の種類（学生寮（一人部屋・二人部屋）・アパート等）	学生寮（1人部屋）
家賃	約580ユーロ
住居を探した方法・時期	ESSECへの受け入れが決まると同時にESSEC側から案内が来る
荷物の運搬方法 （ハンドキャリー、国際宅配便（会社名、プランも）等）	キャリーバッグ1つとポストンバッグ1つ
その他	

##### 5. 2 食生活についての情報

普段の食事（自炊・食事つき学生寮等）	自炊、昼食は食堂でとることも
1ヶ月の食費	
その他	

##### 5. 3 その他日常生活に関する情報

大阪大学経済学研究科/経済学部  
部局間協定校派遣生の海外留学体験談

電話について	日本にいる人との通話はWi-Fi環境のあるところでSkype通話がほとんど。現地の人との連絡はフランスの携帯会社で契約した携帯電話を利用。プリペイド式で便利
インターネットについて (Wi-Fi 環境等)	寮に別料金だが定額制のWi-Fi接続サービスがある。また携帯会社 (Orange) にてポケットWi-Fiを契約
コンピューターについて	日本からノートパソコンを1台持って行った。図書館にコンピューターあり
郵便について	
交通機関について	かなりの頻度で電車が止まったり時刻表通りに動かなかったりするので、移動の際には時間に余裕をもって行動すること
治安について	昨今の情勢不安により、パリ市内は特に警官などが多く配備されているためか、すりなどの軽犯罪にはあいにくくなっている。しかしそれでも治安がいいとは言えないので警戒はしておくべき
保険について	留学生用の保険に加入
医療機関・薬について	常備薬を日本から持って行った
気候と服装について	夏を過ぎると急に冷え込み日も短くなる。日本とそこまで気候の違いがあるようには感じられない。
普段の買い物について	Cergy Prefecture 駅の駅前にショッピングモールがあり、そこでほとんどの買い物を済ませることができる。
娯楽・行事について	9月末にヨーロッパ文化遺産の日というのがあり、その日は普段公開されていない宮殿なども無料で公開されているので、見学をおすすめする。
日本語の使用について	日本サークルや日本人留学生同士のやりとりで使用
日本から持参して特に役立ったもの/持参したら良かったもの	電子辞書
留学前にしておいて良かったこと/しておけば良かったこと	フランス語の予習
その他	

6. 就職活動に関する情報

留学前の就職活動について (セミナー参加、自己分析、業界研究、就活サイト登録等)	3月から7月まで他の修士の学生と同じように就職活動を行った
--	-------------------------------

留学中の就職活動について (海外からの情報収集、企業へのコタクト、インターンシップ等)	内定先からの課題
--	----------

7. 語学の学習方法について

留学前に準備したこと、語学能力試験対策等	TOEIC
留学中の学習方法、工夫したこと等	
留学後にどれぐらい語学力が伸びたか(主観的な実感や具体的なスコア等)	フランス語、英語ともに耳が聞くことに慣れたため、コミュニケーションがとりやすくなった。

8. その他

留学して得られたこと	
留学中に困ったこと	
留学前/留学中に参考になったウェブサイト等	

9. 留学体験談・エッセイ(様式任意)

留学を決めた理由、現地で履修した授業およびその感想、楽しかったこと、大変だったこと、これから留学を考えている後輩へのメッセージ等を1~2ページ(様式任意)で記載してください。また、留学中に撮影した写真数枚(本人も映っているもの)も合わせて提出してください(国際交流室のHPやNewsletterに掲載させていただく可能性があります)。

私はフランス共和国にあるESSEC Business Schoolに1学期間留学しました。語学力を向上させたい、フランス有数の名門校でどのように経済学や経営学を教えているのか、学生はどのような意識で学んでいるのかを知りたいと思い、交換留学でもなければここで学ぶ機会はないと考え、留学することを決めました。授業では、様々な国籍の学生が活発に意見を出し合い、積極的に学ぼうという姿勢に刺激を受けました。一方で、慣れない生活にひどくストレスを感じることもありましたが、それは日本人留学生と語り合うことで解消しました。また短いですが休暇中には様々な場所へ旅行することもでき、長期間滞在することでしか体験できないことも楽しむことができました。

修士2年の後期ということで、留学に尻込みする人も多いとは思いますが、学ぶことは多くあるので、せっかくの機会、この学校に留学できるチャンスはもうそれほどないと思うので、活用されることをおすすめします。